

審議会等会議録

審議会等の名称	第4回甲州市総合計画審議会
開催日時	平成25年1月28日（月）19:00～21:00
開催場所	甲州市役所本庁舎市民ギャラリー
公開・部分公開の区分	公開
出席者	網野貴章、大村春夫、岡部富永、萱原春美、志村功、鷹野勝己、辻武彦、中井道夫、中村功、中村道子、日原健次、日原瑞枝、樋山太一、廣瀬貴美子、松橋勝美（15人） 〔敬称略・五十音順〕
事務局	政策秘書課：菊島課長、中村課長補佐、飯島副主査
議題	・甲州市総合計画見直し（案）について（事務局説明） ・意見交換
内容	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務局 （基本構想見直し案について説明する。） ○ 委員 「地域主権改革」という言い方は適当ではなく、見直し案の中で「地方分権改革」と修正されていたのは良かった。「地域主権」で言う「主権」とは、もともと国を語るのに領土があり、国民に主権があるという概念である。地方自治は地方の住民自治と団体自治が確立されているものである。地域主権が地方分権にと言うのは、民主党から自民党に政権交代したからということではない。地域主権という形で国家よりも地方自治が本来の在り方を決めていくということで進めているところもある。 ○ 会長 社会でも大きな変化があった。トンネルの崩落事故を受けて、国をあげての防災対策を講じている。震災では耐震性が見直しが課題に挙げられた。学校教育の体罰の問題にも批判が出ている。その部分も踏まえて見直し案に書き込みがあるか検討してもらいたい。 ○ 事務局 （基本計画見直し案について説明する。） ○ 会長 事務局からの説明があったが、「主要施策」に対して「主な指標」が対応していないものがある。また、指標だけあり、施策が何もないものもある。指標は具体的数値であるので、設定は難しいが、指標を入れる努力が必要である。次回見直し際に評価がしにくくなる。行政もアイデアが出ないかも知れないが、委員から指標の提案もいただくと幸いである。 ○ 委員 農業は新規就農者が増えており、やりたいと思う人も実際増えていると感じる。6次産業化に対する市のサポート体制において門戸を開いてもらい、施策の中で盛り込んでもらいたい。

- 事務局 総合計画に取り込めるか、実施計画の中で取り入れていくか、どう落とし込んでいくのかを検討する。
- 委員 観光面で、一度山梨を離れ県外に出て行った人をいかに甲州市に集めるか、行政が年代ごとに企画を考えるのもシステムとして面白い。甲州市にお金を落とし、人の交流も生まれる施策があれば良いと思う。
- 会長 一泊してワインなどを土産にして、お金を落として人間関係も作るという行政が支援するシステムをとということだが、実際のところどうか。
- 事務局 現状でやっていないが面白い取り組みだと思う。ソーシャルメディアにアクセスしてもらってプラットフォーム作りも必要に感じる。現在、甘草を使って地域活性化ができないか、新日本医薬と協定を結ぶ中で研究を進めているところである。
- 委員 甲州市を代表する特産としてワインがある。ワインの知識を持っている職員が少ないのは片手落ちである。体系的に勉強できるシステムを行政内で作り、予算を取ってもらいたい。
- 事務局 勉強する体制も時間外でということになる。体系立てた取り組みというところは小さい自治体ではなかなか難しいところである。
- 委員 ワイナリー会社も一生懸命やっているが、PRが足りないと思う面もある。地域の人にもワインを知ってもらい一緒に携わってもらいたい。市長もトップセールスを行っているが、ワインに携わる上で指導者も欲しいところである。検討してもらえればと思う。
- 委員 勝沼ワイン協会ではシャンパーニュに研修に行く。市の職員も一緒に参加をしてもらい、ワインに精通した職員の育成に取り組んでもらいたい。
- 委員 子育て支援の保育サービスの充実分野で「園庭芝生化事業」があるが、導入された経緯が分からない。環境教育の視点で考えればビオトープだと思う。また、乳児全過程訪問事業は、対象者を全員ではなく希望者に限定しても良いと思う。妊娠中に2回、出産後も2回来てくれる。全員に適用されるが、個人的にはそこまで必要ないように感じる。色々な子育ての形もあるので希望者だけでいいのではないか。税金がもったいない。
- 会長 園庭芝生化事業はどういった経緯で出来たのか。
- 事務局 担当課ではないので知り得る範囲でお答えする。芝生化事業は、こういったものがあるということで議会の一般質問で出たものである。実際にその現場を見ると園児が非常に伸び伸びと遊んでいる。あまりコストもかけずにできる。育児訪問も、担当が「やるんだ」という一心で自負を持ってやっているものである。ただご意見をいただいたようにすべての方に必要ないのであれば検討させて

いただく。

- 委員 指標設定の中で私立、公立の保育園（所）の入園（所）率とあるが、これに対する施策が何もない。指標だけあるが本当にそうなのか。甲州市には子どもがいないのか。何が問題なのか、保育所の問題が何もない。それを盛り込んだ方が良いと思う。
- 事務局 所管課と協議して課題を検討する。
- 委員 バス運行として、勝沼のワイナリーを巡る動きが欲しい。デマンドバスも塩山地区だけで、勝沼では誰も乗っていないバスが走っている。難しい問題だとよく言われるが何が問題なのか教えて欲しい。
- 事務局 一度始めたものをなくすのは行政として難しい面もある。先日観光施策で実施した女子会での意見でも、交通の利便性、案内標識の充実、ホームページでの情報発信の仕方、公共トイレの整備充実等多くのご指摘をいただいている。実験的にでも実証運行してみることも検討する。
- 委員 デマンドバスは観光には使えない。民間が自主的にやらないとできない。コミュニティバスも難しい。広域でやったらどうか。
- 委員 歴史と観光の町、甲州市で見た場合、観光条例は大事だと思う。甲斐市は看板条例も定めている。有料かどうかという点もあるが、一定のラインを引かないといけない。
- 事務局 景観条例の中でもご指導をさせていただく。現在、景観まちづくりワークショップで色とはどういったものか研究を行っている。4月から条例も施行されるが、実際に業者の方からの問い合わせを多くいただいている。看板、サインも方針を定めてご理解してもらおう。
- 委員 空き家バンク制度はあるが、賃貸物件がない。定住促進住宅は空きがあるが、ウィークリーマンション的な活用方法があればいいと思う。
- 事務局 そういう活用方法が可能なのか。定住促進住宅も空きが多いので、活用案を見出して検討したい。
- 会長 公共施設の耐震の問題がある。消防防災テーマには公共の耐震問題は書かれていない。自治体経営のテーマに書かれている。重複を恐れずに市有建築物の長寿命化、耐震問題も入れた方が良いと思う。
- 委員 河川清掃もただ川をきれいにするのではなく、市にはもっと戦略的に考えて欲しい。漠然とやるのではなく、本当に川をきれいにするため目的を持って行って欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員 学校教育において、いじめ・不登校の問題をよく聞く。学校本位でも悩んでいる問題であり、教育文化のまちづくりの中でいじめ等の問題も膨らませて、甲州市で取り組んでいる内容を入れてもらいたい。 ○ 事務局 委員のおっしゃる通りであり、膨らませて書かせていただく。 ○ 委員 審議会での男女共同参画の問題で、女性が参加する指針はあるのか。 ○ 事務局 現状では3割以上を目指すというところであり、ポジティブアクションまでは行っていない。 ○ 会長 審議会等における女性の割合について、目標を掲げるということで具体的な数字は書けないものか。 ○ 事務局 難しいところである。性別を超えて出ていただくという観点もあるので、女性の参加意識を高めていき、そこを後押しする施策も必要と思う。外国では役職に就く女性が全体の半分を占めるとも言われる。 ○ 事務局 今後の予定であるが、2月1日から22日にかけて市民の皆さんの意見を伺うパブリックコメントを実施する。審議会等でのご意見等もいただいたので最終の答申案の作成を行っていく。次回審議会で答申案についてご確認いただき市長に答申を行う。市長との意見交換の場も設けてまいりたい。
会議資料	・甲州市総合計画見直し（案）
問い合わせ先	政策秘書課 政策調整担当 TEL 0553-32-5064